

令和6年西予市教育委員会第8回定例会 会議録

I 開会の月日及び場所

令和6年8月27日（火）

西予市教育保健センター4階 第二研修室

II 出席者

教育長	宇都宮 明彦	委 員（教育長職務代理者）	木下 弘規
委 員	酒井 史朗	委 員	兵頭 美和
委 員	藤森 美佳		

III 議事に出席した公務員の職氏名

教 育 部 長	谷口 佳代	教育総務課長	宮中 英希
学校教育課長	青木 志郎	まなび推進課長	大崎 伸一
教育総務課長補佐	橋本 欽司	学校教育課長補佐	榊田 寿美子
学校教育課長補佐	清家 真二	まなび推進課長補佐	高木 邦宏
まなび推進課長補佐	往田 剛		

IV 議題

1 会議録の承認

（1）令和6年西予市教育委員会第7回定例会会議録の承認について

2 報告事項

（1）令和6年8月の行事報告について

（2）令和6年9月の行事予定について

（3）令和6年西予市教育委員会第9回定例会の開催日程について

3 議決事項

議案第12号 令和7年度使用中学校教科用図書の採択について

4 協議・報告事項

報告

（1）西予市教育委員会教育長職務代理者の指名について

V 会議の概要

1 開会

教育長

開会に先立ち教育長として、市長から令和6年8月1日付けで任命され、令和7年6月9日までの任期である旨報告する。

午後3時開会を宣する。

傍聴者は、西予市教育委員会傍聴規則を遵守するようお願いする。

本日は、日程を変更して「議案第12号令和7年度使用中学校教科用図書の採択について」の議案審議を先に行うことについて諮る。

全委員

異議ない旨答える。

教育長

異議なしと認める旨告げる。

2 決議事項

議案第12号 令和7年度使用中学校教科用図書の採択について

教育長

事務局の説明を求める。

学校教育課長

令和7年度使用中学校教科用図書の採択について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条及び義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条並びに義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第15条第1項に基づき、令和7年度より使用する中学校教科用図書について審議し、採択を求めるものである旨説明する。内容については、担当者から説明する旨述べる。

教育長

採択内容の詳細について、説明を求める。

学校教育課長補佐

西予市教科用図書選定委員会より提出された選定結果を参考に慎重に検討した。採択したい中学校教科用図書原案について教科・種目ごとに発行者名、採択理由の順で説明する。

・国語：光村図書

「学びへの扉」「学びのカギ」が記載されており、学習の手引きとして活用できる。大事なことが焦点化され、図解されており分かりやすい。「国語の力試し」では、教科書の問題や発展問題がC B T形式で取り組め、学習内容の定着度が確認できる。語彙力を高める工夫として「語彙

ブック」が入っている。漢詩において、本文の説明があり理解しやすい。

・書写：教育出版

大きめのサイズで見やすい。各学年で学ぶ内容が明示されており、見通しを持って学習に取り組める。筆順を示したり、行書には筆脈が点線で書かれたりしており、筆の運びが分かりやすい。中心線が引かれており、バランスが取りやすい。学習の進め方が書かれており、基礎・基本の定着を図ることができる。「学びリンク」というQRコードが統一された位置に設けられており活用しやすい。

・地理：帝国書院

見通しを持った学習ができるよう配慮されている。教材の選定がよく、資料のバランスがよい。写真や資料が多く、重要語句の解説が欄外に適切に配置されている。QRコードは動画による解説や振り返りテストにリンクし、生徒の理解を高める工夫がされている。

・歴史：東京書籍

歴史の流れを追いやすく、生徒も理解しやすい。資料の選択がよく、生徒の興味を高める工夫が見られる。いろいろなコーナーがあり、分かりやすい補足説明がある。QRコンテンツが優れており、各ページにおいて全体的に見やすい。

・公民：日本文教出版

見通しを持った学習ができるように配慮されており、現代的な課題が丁寧に扱われている。シンプルな資料が多いが、見やすく、理解しやすいように工夫されている。QRコンテンツが充実しており、生徒が自主的に学習に取り組むことができるように配慮されている。

・地図：帝国書院

全体的に落ち着いた色使いで見やすい。地図だけでなく、写真やイラスト、グラフ等も充実しており、利用しやすい。QRコードもあり、生徒が検索することもできる。

地理だけでなく、歴史や公民の学習にも活用しやすい配慮が見られ、内容も充実している。

・数学：啓林館

見やすく図や挿絵も工夫されており、学習内容がバランス良く構成されている。分量も適切で、問題も基礎・応用・活用という形で十分用意されており、充実している。デジタルコンテンツが充実している。要点を色で囲んで表示しており、分かりやすい。

・理科：東京書籍

写真や絵のバランスが良く見やすい。1～3年まで見通しを持った構成になっており、科学的に探究しようとする態度が養われる配慮が見られる。実験内容も充実し、安全に実習するための配慮が行き届いている。科学者や著名な学者を取り上げている点は、生徒の興味・関心を高める。

・音楽（一般）：教育芸術社

内容が豊富で教材も多く、見やすい。見通しを持った学習ができるように配慮がある。音楽の要素などを考える場面が多く設定されている。学習のねらいが、生徒にとって分かりやすい。ワークシートに理解を助けるヒントがあり使いやすい。文楽では、西予市出身の演者を取り上げられており、伝統芸能を身近に捉えられる。

・音楽（器楽合奏）：教育芸術社

見通しを持った学習ができるように、丁寧な配慮があり、内容が充実している。各楽器の鑑賞教材も充実している。親しみのある曲が取り上げられており、取り組みやすく器楽を楽しむことにつながる。楽器の練習・演奏のポイントなどが丁寧に書かれており、生徒の技能習得に役立つ。

・美術：光村図書

構成が整理されており、鑑賞活動や題材の幅が広く工

夫があるため、授業がイメージしやすい。道具の使い方も1冊に詳しく書かれている。技術面でのサポートもQRコードなどで手軽に活用できる。生徒作品が多く掲載されていて、作成の際イメージしやすい。

・保健体育：学研教育みらい

資料が大変充実しており、授業で効果的な活用ができる。「ウォームアップ」として授業への興味・関心を高める導入の工夫が見られる。「学びを生かす」という項目で、学習したことを生かそうとしており、「トリクメーター」で授業を振り返り、セルフチェックすることができる。各章のまとめで学んだキーワードを振り返り、確かめ問題に取り組むことができる。

・技術：開隆堂

文章と図のバランスが良く、色使いが落ち着いていて見やすい。内容も整理されており、適切に構成されている。細かな部分の説明も丁寧に記載されており分かりやすい。「安全マーク」があり、作業中の危険防止の配慮がある。「インタビューコーナー」では技術への関心を高める工夫がされている。作業をする際に、道具の使い方が同じページに書かれているので使いやすい。小学校の既習内容との関連の記述もあり、系統的な学習が可能である。

・家庭：開隆堂

学習内容が充実しており、生徒が興味を持ちやすく、視野が広がるよう工夫されている。図や写真（実物大）が適切に掲載されており、見やすく、読みやすいため、生徒の思考を妨げない構成となっている。実習例の中に手順例や調理方法Q&Aがあり、学習の助けとなる工夫が見られる。持続可能な生活について触れており、時代に合っている。

・英語：光村図書

内容が十分で、単元ごとの言語活動が非常に充実しており、使いやすい。本文の内容が、生徒の興味を引くもの

となっており、デジタルコンテンツも充実している。単元を振り返るテストも準備されており、現場の教科担任も取り扱いやすい。今年度から小学校でも光村図書が使用されており、小学校との連携という点でもふさわしい。

・道徳：東京書籍

どの題材も読みやすく、取り扱いやすい。他教科との関連も図りやすい。NHK for school などの映像資料を取り入れるなど内容が充実している。生徒の発達段階にも適している。心情円が紙媒体とデジタルで使用でき自分の気持ちを表現する方法が工夫されている。

教育長

本日まで、教育委員各位には、実際に教科書をご覧になられたほか、愛媛県教育委員会からの選定資料や西予市教科用図書選定委員会からの報告書などを参考に、それぞれ研究また精査されてきたと思うが、意見をいただきたい旨述べる。

木下委員

事前に教科書を渡していただき、愛媛県教育委員会の採択基準等の選定資料を参考にしながら教科書を読ませていただいた。私からは、社会（地理的分野）、地図、美術、道徳において、事務局から提案されている教科書について意見を述べたい。

まず、社会（地理的分野）について、帝国書院が提案されている。

この教科書は、本文の内容が充実しており、内容に合わせた写真や図版等が多く用いられ、そのバランスもとても良いと思う。

また、本文と資料の関連を番号で示すとともに、重要用語の解説が欄外に配置され理解を助けると思う。

そして、巻頭には「思考ルールの活用方法」等が提示され生徒の学習の深まりが期待できると思う。

次に、地図について、帝国書院が提案されている。

この教科書は、落ち着いた色づかいの地図で見やすく、写真やイラスト・グラフ等が充実して、よくまとめられていると思う。

また、生徒が主体的に取り組むための問いである「地図

発見」のコーナーが設けられ、地理的な見方・考え方を働かせるのに有効であると思う。

さらに、イラストを付した鳥瞰図を数多く配置するとともに、複数の図を比較・関連させて考察できるように工夫するなど、地図や各資料は、活用しやすく配慮されていると思う。

美術について、光村図書が提案されている。

この教科書は、多様な題材をバランスよく配置されていると思う。

そして、生徒が試行錯誤しながら制作に取り組む様子を丁寧に紹介した「みんなの工夫」のページが設けられており、作成の際のイメージがわきやすいと思う。

日本の工芸品が多く記載されており、創造活動の喜びを味わい、心豊かな生活を想像していく態度が養われると思う。

道徳については、東京書籍が提案されている。

この教科書は、どの教材も読みやすく、自分の心と向き合うことができると感じる。学習したことを広げたり、深めたりするコラムの「プラス」のページが適所に設けられている。授業の導入や終末、または自宅学習等、さまざまなタイミングで教材と関連したテーマについて学ぶのに大変良いものであると思う。

2つの円を切り取って合わせ、色の割合を動かすことで、自分の気持ちを表現する「心情円」や「つぶやき」コーナーなど学習指導への配慮がなされていると思う。

以上の点から、原案に賛成する旨述べる。

兵頭委員

国語、書写、保健体育において提案されている教科書について意見を述べたい。

まず、国語について、光村図書が提案されている。

この教科書は、単元ごとにある「学びへの扉」では学習の流れが分かりやすく提示され、特に重要ポイントには黄色で示されていることから、視覚的にも学びのねらいが明確である。

「学びのカギ」では、思考の道筋を図解で表し、見える化することで課題解決のための資質・能力を着実に身に着けることができると感じた。

古典では折り込みを開くと迫力ある教材紙面が多く掲載され、古典文学に対し、生徒の興味、関心が高まり、想像力をかき立てるよう工夫されていると思う。

「語彙ブック」のコーナーは、自分の考えを的確に伝える言葉を探ことができ、多くの言葉に出会い、複雑な心の動きを捉えたり、心の言葉を磨いたりすることができるコーナーだと思う。

その他、C B Tの活用で振り返り学習を自己採点で確認できることから学びを深め、主体的に学習に取り組めるように配慮されている点がよいと思う。

次に、書写について、教育出版が提案されている。

この教科書は、書写を学んでいく上で文字を効果的に使い、書く力が身につくよう配慮されている。

行書の学習では、穂先の通り道や筆脈、力の入れ具合などを朱墨で表示されており、大変わかりやすい図版になっている。さらに教科書の右下にある二次元コード「まなびリンク」を活用すれば、動画で、より具体的に内容を理解でき、書写の楽しさを知ることができ、学んだことを実生活にも生かしたくなる工夫がされていると感じた。

要所要所にある「コラム」のページでは、文字文化の歴史資料が豊富に掲載されており、「書くこと」への意欲向上が図られるとても良い教科書だと思う。

保健体育については、学研教育みらいが提案されている。

この教科書は、レイアウトの配置がよく、とても見やすい教科書だと思う。

ウォームアップとエクササイズという表記があるため、課題を見つけ思考し、話し合うということが授業の中でできると感じた。理解したことをその場で活用できるような配慮もされていると思う。

各単元それぞれの章のまとめでは学んだことを振り返り、評価するコーナーがあるため生徒が自ら学びたくなるような工夫がされていると感じた。さらに年々変動する気象などに対して考え、備えるためにも情報の最新化は必須だと思う。

自然災害に対しての情報・資料が先取りしてある点も、

良い教科書だと思う。

また、「探求しようよ」のコーナーでは、より深く生徒同士学びあったり、対話的な学習をしたりすることができると思う。

技能の習得のための手順もわかりやすく示されているためAEDなどの実習にも取り組みやすいようにされていると思う。

以上の点から、原案に賛成する旨述べる。

酒井委員

社会（歴史的分野）、社会（公民的分野）、理科、英語において、提案されている教科書について意見を述べたい。

まず、社会（歴史的分野）は、東京書籍が提案されている。

この教科書は、1時間ごとに学習の始めに学習課題が示され、学習の最後には学習を振り返るための「チェック＆トライ」が示されている。このことにより、生徒一人一人が、この1時間に何を学習するのか、どんなことを学習したのかを確認することができ、学習内容の定着が図れるように工夫されていると思う。

また、「スキル・アップ」のコーナーを設け、情報の収集の仕方や読み取り方、まとめ方など、歴史学習の基礎的・基本的な技能を身につけられるように工夫されている。

さらに、「みんなでチャレンジ」というコーナーでは、対話的な学習を通して生徒同士が学習内容をより一層深められるよう工夫されていると思う。

次に、社会（公民的分野）は、日本文教出版が提案されている。

この教科書では、まず巻頭1から3で公民とはどんな教科なのか、これまで学習してきた地理や歴史とどうつながっているのかが一目で分かるよう工夫されている。写真や図、グラフなど多く用いられている。どれも本文の内容に合わせ適切なものだと思う。

「明日に向かって」のページが設けられており、生徒が「進んで社会に参画しよう・参画したい」という姿勢や意欲を育てる工夫がなされている。さらに、「アクティビテ

ィ」のコーナーが設けられ、生徒同士での話し合いなど対話的な活動も保証されていて、生徒同士で学習を深める上で効果的だと思う。

理科は、東京書籍が提案されている。

この教科書は、各単元の冒頭で、「この単元で学ぶこと」のページが設けられ、他学年の学習内容との連携を示すとともに、探求の過程をフローチャートで示し、系統的・発展的に構成されている。

また、各節の冒頭には、生徒がこれまでに得ている知識や生活経験の中から、ふとした疑問や問いを投げかける「レッツスタート」のコーナーが設けられており、これから学習していこうとする生徒一人一人の興味・関心を高める工夫がされている。

安全に実験を行うための心構えや薬品の取り扱いについても細かくかつ適切に注意事項が示されており、生徒が安全に学習できるよう配慮されている。

英語は、光村図書が提案されている。

この教科書では、「You Can Do It」のページが設けられており、外国語で情報や考えを理解するにとどまらず、理解したことを活用して表現したり伝えあったりすることを十分意識した内容だと思う。

また、巻末のページも充実しており、生徒が積極的に言語活動に取り組むことができると考える。

全体を通して本文の内容が生徒の興味をそそり、イラストや写真の配置、バランスも良く、使いやすい教科書になっていると思う。

以上の点から、原案に賛成する旨述べる。

藤森委員

数学、技術、家庭科、音楽において、提案されている教科書について意見を述べたい。

まず、数学について啓林館が提案されている。

この教科書は、図や絵、重要部分の文字の太さなど配置やデザインがスッキリとまとまっており、視覚的にポイントが押さえられるように思う。あわせてデジタルコンテンツが充実しており、生徒の主体的な学習を後押ししている。

次に各単元にある基礎・応用問題の量が適切である。

また、各課題内で表現力を身に付けるために「話し合おう」「説明しよう」など項目を設けており、普遍的な基礎力と論理的な考察と表現力が身に付くような構成となっている。

巻末では下位学年の復習問題、その学年で培った基礎や応用問題の振り返りとともに高等学校での学習を想起させる問題があり、小学校から中学、高校までの学習のつながりがわかるよう工夫されている。また、実生活と結び付けた問題が多数あること、他教科とのつながりについても網羅されており「数学と日常の関連性」を実感し学習意欲につながるものとする。

技術については、開隆堂が提案されている。

この教科書は、各項目の課題と確認事項が明記されており、学習の道筋がわかりやすい。あわせて説明が丁寧かつ全体像が把握しやすいようにまとめられていることも学びやすさにもつながっている。

各分野共通して、まず身近にある技術の背景（課題と解決手法）を理解し、次いで実習を通して課題の把握・改善策を立てる構成となっており、技術取得の有用性と課題解決能力の必要性が実感できる。

各章の最初に小学校での学びやその他教科とのつながりが見えるようになっており縦断的・横断的な学習の意義が明確になっている。加えて各章末にあるコラムが非常に充実しており、技術を生かした社会貢献をイメージしやすくキャリア教育においても有用であると思う。

家庭科について、開隆堂が提案されている。

この教科書は、図やイラスト、写真を駆使し視覚的にも理解が深まるように工夫されている。食品が実物大で標記されていることは実習だけでなく日常生活で活かすことができ、家庭科ならではの特徴と言える。

各章で統計などの客観的事実や法律・社会保障制度など一般知識を学び、さらに巻末の「生活の課題と実践」を使用し、自らの状況に応じた課題を設定し、解決に取り組む機会を設けている。課題解決に対する自主性を育むとともに、他者の課題や解決の見通しに触れることで多様性の容認や共生の意識が根付くことが期待できる。

実習例が豊富で興味関心を引き出すとともに、全国各地の中学生の取り組み事例や幅広い分野で活躍する方々の体験談が多数掲載されており、生徒の視野を広げ将来像を描くきっかけになると考える。

音楽（一般）については、教育芸術社が提案されている。

この教科書は、文字や楽譜が見やすく、イラストや写真の配置、大きさ、バランスが適切であり、生徒が手に取りやすい教科書であると感じた。

生活や社会に関わる多彩なジャンルの音楽を紹介しており音楽を身近な楽しさとして味わえる内容となっている。「文楽」においては本市ゆかりの演者も掲載されており、伝統的な音楽をより身近なものとして捉えることが期待できる。

音楽（器楽合奏）についても、教育芸術社が提案されている。

この教科書は、単元の導入として、各楽器の鑑賞教材を複数取り上げており、生徒の興味や関心を高めるものとなっている。

「練習・演奏のポイント」では技能習得の手がかりが示されており、指導する側も学ぶ側も同じ視点で学習に取り組める。

音楽（一般）と音楽（器楽合奏）の教科書は同じ発行者の方が効果的であると思う。

以上の点から、原案に賛成する旨述べる。

教育長 それぞれの委員より意見をいただいたが、全体を通して他の意見について求める旨述べる。

全委員 特になし。

教育長 採択に移る旨諮る。

全委員 異議ない旨答える。

教育長 採決方法について、教科ごとに採決するか、全教科一括の採決とするのかを諮る。

木下委員 他の意見もなかったため、一括での採決で良い旨答える。

その他委員 異議ない旨答える。

教育長 一括で採決する旨を告げ、原案について賛成の委員の挙手を求める。

全委員	全員挙手する。
教育長	全会一致にて、原案とおり可決決定する旨宣する。
教育長	暫時休憩する旨宣する。（休憩 午後 3 時 40 分）
教育長	再開を宣する。（再開 午後 3 時 50 分）

3 会議録の承認

教育長	令和 6 年西予市教育委員会第 7 回定例会会議録について意見を求める。
-----	--------------------------------------

全委員	特になし。
-----	-------

教育長	令和 6 年西予市教育委員会第 7 回定例会会議録の承認について諮る。
-----	-------------------------------------

全委員	異議ない旨答える。
-----	-----------

教育長	令和 6 年西予市教育委員会第 7 回定例会会議録を承認する旨宣する。
-----	-------------------------------------

4 報告事項

(1) 令和 6 年 8 月の行事報告について

教育長	8 月 8 日、愛媛県に「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表され、市では当日、災害警戒本部体制をとり、本部会議を開催し、警戒体制の方針を決定した。
-----	---

教育部においては教育活動を制限する状況ではなく、各家庭・各学校で緊急時の連絡体制の確認、自分の命は自分で守るを原則に緊急時の行動について児童生徒に指導するよう保護者と教員に通知を行った旨報告する。

8 月 9 日、第 1 回社会教育委員会を開催し、委員の委嘱、委員長の選出、社会計画期間の見直しや各地域づくり活動センターで実施する社会教育活動の評価方法について説明を行った旨報告する。

8 月 19 日から 22 日までの 3 泊 4 日で城川町土居地域づくり活動センターを拠点に市内の小学 3 年生から 6 年生の 42 名で城川の各地を自転車で巡る四国西予ジオキャンプ事業を行った旨報告する。

今年度の全国中学校総合体育大会に野村中学校相撲部、宇和中学校剣道女子の部・陸上部が出場し健闘した旨報告する。

教育長	暫時休憩する旨宣する。（休憩 午後 3 時 55 分）
-----	-----------------------------

教育長 再開を宣する。(再開 午後 3 時 58 分)

(2) 令和 6 年 9 月の行事予定について

教育長 事務局の報告を求める。
教育総務課長 9 月行事予定について報告する。
教育長 9 月行事予定について意見を求める。
酒井委員 9 月行事予定の修正箇所を指摘する。
教育長 確認し修正する旨答える。
全委員 特になし。

(3) 令和 6 年西予市教育委員会第 9 回定例会の開催日程について

教育総務課長 令和 6 年西予市教育委員会第 9 回定例会の日程について 9 月 24 日 (火) 午後 3 時から開催する旨提案する。
教育長 令和 6 年西予市教育委員会第 9 回定例会の開催日程について意見を求める。
全委員 特になし。
教育長 令和 6 年西予市教育委員会第 9 回定例会を 9 月 24 日 (火) 午後 3 時から開催する旨宣する。

5 協議・報告事項

報告 (1) 西予市教育委員会教育長職務代理者の指名について

教育長 事務局の説明を求める。
教育総務課長 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 13 条第 2 項の規定により、教育長に事故があるとき、又は教育長が欠けたときは、事務に支障をきたすことがないよう、教育長の職務を代理する者を、あらかじめ教育長が教育委員の中から指名することとされている。

現在、木下委員が職務代理者として指名されている。職務代理者の任期については、「新たな教育長が任命され、その教育長が新たに職務代理者を指名するまで」とされていることから、宇都宮教育長に職務代理者の指名を求めるものである旨説明する。

教育長 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 13 条第 2 項の規定により、改めて木下弘規委員を教育長職務代理者として指名する旨宣する。

6 閉会
教育長

午後 4 時 10 分閉会を宣する。

議事録署名

以上、令和6年西予市教育委員会第8回定例会の顛末を記録して相違ないことを証明する。

令和6年9月24日

教育長

宇都宮明彦

教育委員（教育長職務代理者）

木下弘規

教育委員

酒井史朗

教育委員

兵頭 美和

教育委員

藤森 美佳